

教育事業個別報告書

事業名	Grow up your feeling ～仲間とともに自然体験～	
趣 旨	児童養護施設で生活している子どもたちが、心身ともに健やかに成長・発達していくことを願い自然体験活動と心のふれあいの機会を提供する。	
期 間	平成23年10月15日（土）～16日（日）	
募集人員 （募集結果）	児童養護施設で生活する小学生と引率教員 （参加者28名：小学生20名，教員8名）	
① 事業の特色		
<p>子どもたちが施設に入所する理由の一つとして最近増えているのが、ネグレクトを含む虐待である。全国では虐待により年間に120数人の子どもが亡くなっている状況にある。児童養護施設等で生活している子どもたちは、多かれ少なかれ心に傷を持っている。また、子どもたちが養護施設に入所してきた経緯は、それぞれ様々であるが、共通して言えることは、社会性やコミュニケーション能力が乏しいことである。</p> <p>そこで、施設中心の生活から自然の中に身を置き、体験活動を通して自分の意見を聞いてもらったり、他の意見を受け入れたりする中で、子どもたちの心の開放を図り、よりよい人間関係の構築を進めたりすることができるようなプログラムを設定し、実施した。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【荒天のため室内OL】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【キャンプファイヤー】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【パン焼き，シチュー作り】</p> </div> </div>		
② 事業の成果と課題		
<p>〈事業の成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 異学年男女混合の班編成にして実施した室内OLやパン・シチュー作りをとおして、自分の意見を述べたり、他人の意見を聞いたりしながら班の一員として活動をする場面が多く見られた。また、上学年が下学年の面倒を見る場面も多く、成長が感じられた。 児童養護施設の職員も子どもたちと一緒に活動することによって、子どもたちの新たな一面を発見する機会となった。また普段、人前で発表出来ない子どももキャンプファイヤーで自分の夢を語る事ができた。 <p>〈事業の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの社会性や協調性のさらなる成長を期待するためには、複数の施設との交流など、内容や回数について検討する必要がある。 		
③ その他		
<ul style="list-style-type: none"> 今年度まで実施してきたプログラムを児童養護施設の研修支援事業において提供することで普及を図る。 		